

HIGHNESS GION 7th Anniversary

@il ponto SERALE



鬼が飛来し、怨霊が息づく京の町。四神を配し、大將軍に守護を頼み、鬼の通り道である鬼門に社が建てられた都。その街なかに、突如現れた異空間「il ponto SERALE」。真っ白な緞子路地のような入口を通り抜け開くエレベーターは、まさしく魔界への扉そのものではないか。漂う妖気の正体を知りたい欲望に抗えず、目を覆った指の間からこっそり覗き見る気分。一歩足を踏み入れれば、そこでは魑魅魍魎が跋扈する宴が繰り広げられていた。

店長の登月さんや本誌スタッフをはじめ、30歳を越えた木屋町育ちのヤンチャクレドもが、まだ17~8歳という盛り頃の、すでに「すげえ!!」と叫ばずにはいられないほど雲の上の人だったという淳さん率いる「HIGHNESS GION」。7周年を祝って集う面々とともに、初めての木屋町での宴の賑々しいこと限りなし。怖いもの知らずな諸君、淳さんの支配する異界を訪れてみよう。

今宵、異界への扉が開けば、百鬼夜行が木屋町を通る



A 皆を統べるオーガナイザーは「HIGHNESS GION」オーナーの淳さん(左)と右腕的存在である店長の登月さん。貫禄充分、頭上より一睨みされれば、どんな鬼でも震え上がること間違いなし **B** ダンスフロアでひととき目を引く女性を発見。プロ級のダンスと存在感に感心していると、どうやら大阪のダンススタジオからのお越しとか。「トモミイシザキジャズダンススタジオ、ただ今生徒募集中!」ですって **C** 会社帰りのカズキさん(左)とヘエジさん。店には、大抵ふたり一緒に行っているという仲よし同僚。会社及び上司の不平不満はほどほどに。存分に働き、存分に美味しい酒を楽しんでくださいませ **D** 会社仲間イベント参加なんて、相当仲が良いんですね。専務筆頭にやってきたのかと尋ねれば「いいや〜」と即答。即否定、専務、立場なしてすよ。撮影後、「今日は何かのイベントなんですか〜?」。え〜いまさら? **E** 自他共に認める「木屋町の遊び人」ことオサムさんは実家がうどん屋(どうでもいい情報?)。店が高野にあったころから通っている昔馴染みのひとりである。今日は、いとこのハニー・アスカさんと一緒に **F** 「HIGHNESS GION」の3フロア下に位置するレディースバー「Baci」がリニューアルし、新店長になったRiaさん。並ぶは、店長・登月さんの中学からの腐れ縁でオシボリ屋のBBO(と書いてビビオと読む)さん

